



shaping your dreams

オーエスジー株式会社



OSG 通信

第108期 上半期のご報告

2019年12月1日 ~ 2020年5月31日

証券コード: 6136

With コロナの 時代を生きる

CONTENTS

- 02 トップメッセージ
- 03 特集1「Withコロナの時代を生きる」
- 05 特集2「サステナビリティ
技術の継承、技術の革新」
- 06 環境への取り組み
- 07 社会への取り組み
- 08 コーポレート・ガバナンス
- 09 役員紹介
- 10 財務・非財務ハイライト

本冊子について

本冊子は、オーエスジーの統合報告書「OSGレポート2019」の内容を一部抜粋し、最新の会社情報を加えて制作されています。持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すオーエスジーの姿を分かりやすくまとめました。なお、背表紙の「会社情報／株式情報」については2020年5月31日時点での最新の情報を記載しております。

「OSG レポート 2019」オリジナル版

オーエスジーのWebサイトでは、オリジナル版(原本)の冊子PDF(全ページ)をご覧ください。冊子をご希望の方は、当社Webサイトの投資家情報に関するお問い合わせフォームよりご請求下さい。



冊子PDF: https://www.osg.co.jp/about_us/ir/financial/file/OSG_integrated_reporting_2019.pdf

TOP MESSAGE

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、おそらく世界経済はリーマンショック以上のダメージを受けました。グローバルに事業を展開してきた当社にとって、世界経済と人々の暮らしが落ち着くまでの間、コロナウイルスと共存しながら「With コロナの時代」を生きることになります。

そして当社は、この生産財市場が70%に縮小した「With コロナの時代」で「生き残る」のではなく「勝ち残る」ことを目指します。「勝ち残る」とはシェアアップを図りつつ、しかも利益を生み続けることです。70%の世界では多品種小ロット生産がさらに進むと考えられ、対面型に代わる新たな営業スタイルの開発、多品種小ロット生産でも利益を生み出す生産システムを、この5月に稼働開始したNEO 新城工場の「スマート技術」を生かして、当社のグローバル生産体制に展開したいと考えます。

もうひとつの柱としてコロナの時代では、アフターサービスが重要だと考えており、グローバルに展開していく、リサイクル事業に分類される再研磨事業とジョブコーティング事業を強化します。

ヨーロッパ、南米やインドをはじめ、当社の海外拠点も依然コロナウイルスの影響でたいへん厳しい事業環境にあります。このコロナ禍といわれる状況を当社の世界中の仲間とともに知恵を絞り、力を合わせて乗り越え、いつかこの時代を笑顔で振り返ることができる明るい未来が訪れるよう、ステークホルダーの皆様には今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



石川 則男
代表取締役社長 兼 CEO



「With コロナの時代を生きる」

～インドの地にビジネスの勝機 その未来に賭ける～



3月22日より全地域でロックダウンを開始したインド。70日近くが経過するも、ロックダウンは5月31日まで延長されました。

日本からOSG INDIAへ出向し、インドの地に暮らす私と家族はコンドミニウムの敷地から一步も外へ出ることが許されず敷地内での生活制限の中、近くのコンビニで食料を調達する日々が続きました。残念ながら、日本人が求めるような食材はほとんど置かれていません。持ち込んだ日本の食材を備蓄して使うことになりましたが、いよいよそれも底をつきかけています。

OSG (INDIA) PVT, LTD.
吉川 健一

PROFILE

1992年 オーエスジー販売株式会社入社
2002年 OSG THAI CO., LTD. 出向
2011年 OSG Canada Ltd. 出向
2018年 OSG (INDIA) PVT, LTD. 出向

インドの厳しい現状

人口約13億人。そのうち1日を2ドルで生活する低所得者は約7億人いるといわれています。衛生環境も決して良いとはいえない環境下で、インドでの「感染抑制」は厳しいと感じています。感染者は毎日4000人以上増加し、ロックダウンでも歯止めが利いていません。

経済活動が2か月以上停止し、その損失は1日あたり4800億円以上ともいわれる中で、企業の業績については70%を超える企業が対前年比50%以上ダウンすると予測されています。ロックダウンから規制付きの緩和政策に切り替えられても、失業率はおよそ24%、失業者は1億人を超えているともいわれています。感染拡大、治安の悪化など、まだまだ問題が山積みの状況です。

再開に向けての準備

4月当時、インドに駐在する日本人の70%が臨時便で帰国する中で、私は家族とともにまだインドに残っていました。1日に10回以上起こる停電。外気温が40℃を超える厳しい環境。ロックダウンの中での孤立感。見えない出口。すでに始まっている医療崩壊の危機的状況。精神的にも大変厳しい状況でした。

その後、なんとか最終の臨時便で帰国することができました。帰国した後も、インドの現地スタッフだけでの事業再開に向け、コロナ対策マニュアル、各種規程の整備などさまざまな準備に追われています。再開後は、私が日本から現地に指示やお願いをしなければなりませんし、インドへの再入国は簡単には進まないだろうと考えています。

インドマジック

インド政府は、「経済より人命第一」を掲げ、インド全土でライブ演説を続けるモディ首相の下、大変厳しい規制を国民に課しています。驚くことに13億人ものインド国民はこの厳しい規制を守ろうとしています。私の知っている一部のインド人は普段は簡単なルールも守らず、列に並ぶことさえもしないのに。インドには、なぜ？と思うことが多々あります。それは「インドマジック」と呼ばれています。



OSG (INDIA) PVT, LTD. (本社 ハリヤナ州グルガオン)
従業員:80名

インド事業再開の見通しは



4月20日以降、インド政府の緩和策に従ってOSG INDIAも事業を再開しました。もちろんそこには厳しい制限が存在し、順次の再開になります。コルカタの貿易特区(SEZゾーン)にあるCCT社は、30%の稼働から50%の稼働まで上がりました。OSG INDIAとコーティングの合併会社であるプリムスコートPVDテクノロジー・インディアも5月12日以降順次再開の予定です。ただし、稼働率は最大33%に制限されます。

問題は、国内外の輸送です。未だ輸送に支障が多く、輸入工具販売を主とするOSG INDIAにとって厳しい状況は続きます。

インドの明るい未来に賭ける

13億人の国民、平均年齢27歳というインド。「印僑(いんきょう)」と呼ばれるインドから、英語を駆使し、世界に移住したり海外でビジネスを展開するインド系の人々のネットワークは今や世界1位といわれています。

まだ時間を要するかもしれませんが、インドの国力、経済は確実に成長を続けるのではないのでしょうか。インド国内のマーケットには未開拓分野も依然多く存在し、その将来性は計り知れません。密着民族といわれ、衛生管理がまだまだ不得意であるインドの人々も、いたるところでソーシャルディスタンスを意識するようになってきました。これをどこまで続けることができるのか。

インドの明るい未来に大きな期待を託して、私はまたインドの地に戻りたいと思います。それまでの間、日本から彼らの活動のサポートを続けていきます。

「がんばれ OSG INDIA !」

インドで再研磨事業とジョブコーティング事業を拡大



OSG INDIA プネ工場

所在地: マハーラーシュトラ州プネ
従業員: 30名
事業内容: 切削工具製造および
再研磨



プリムスコートPVD テクノロジー・インディア

所在地: マハーラーシュトラ州プネ
従業員: 23名
事業内容: 切削工具のコーティング
およびジョブコーティング

「サステナビリティ 技術の継承、技術の革新」

～Afterコロナの時代を生きるために今取り組むべきこと～



NEO 新城工場

第二東名新城インター近くの新城工場内に新たに増設された新工場。超硬ドリルと超硬タップを他工場から集約し、最新の「スマート技術」を導入した最先端の工場です。すでに稼働を開始していますが、今秋のお披露目に向けて、旧工場の改修を含めて敷地内の全面改修を行っています。

2020年5月半ばよりNEO 新城工場の稼働がスタートしました。この新工場には、当社の持っている「人による現場力」を最大限引き出すことのできる「スマート技術」を導入しました。この「スマート技術」を生かすには、「外段取りの徹底」と「カンコツに頼らないプロセス」が重要になります。

営業のプロセスではお客様との対面時間を最小限にするために、お客様に納得していただく情報の事前準備、つまり「外段取りの徹底」が必要となります。生産財市況が落ち込んでいる今、在宅勤務でも小集団の活動でも「外段取りの徹底」こそが「After コロナの時代」に適用する企業への近道であり、今取り組むべきことなのです。

今取り組むべきことを「With コロナの時代」にやり遂げた企業にのみ、「After コロナの時代」に勝ち残る道が開けるに違いないと確信しています。

NEO 新城工場で新たに取り組む新製品



スレッドミル

ミリング加工でねじを切削するための工具。3軸同時制御とヘリカル補間機能が付いたNCを搭載しているマシニングセンタで使用します。付加価値の高いワークの不良防止や下穴余裕の無いねじ立てに最適です。



段付きドリル

二つ以上の直径をもち、段になっているドリル。段付き穴または穴あけ、および面取りを同時加工する場合に用います。単溝段付きドリル、複溝段付きドリルなどがあります。



ロングドリル

深穴加工用ドリル。刃先形状や先端部、溝部にまでさまざまな工夫を凝らすことで、切りくずを細かく分断し、安定した切りくず排出性を実現し、高効率な加工が可能です。

E

環境への取り組み

オーエスジーグループは、地球環境の保全が人類共通の重要な課題であることを認識し、「環境基本理念」に基づいて、資源の効率的な利用や環境に配慮した製品づくり、お客様への環境に優しい製品・サービスの提供などに積極的に取り組み、環境負荷低減と資源循環型社会の構築を目指します。



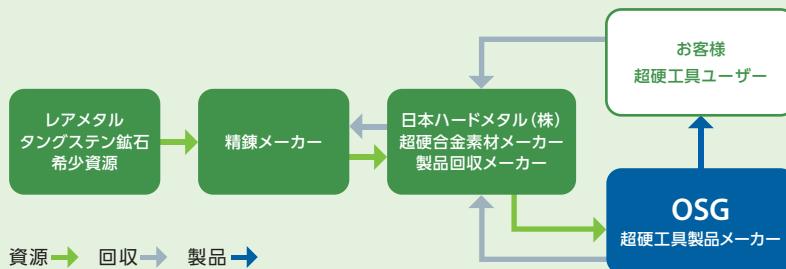
オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

環境負荷低減への取り組み

オーエスジーでは、環境に優しい製品づくりやお客様への環境に優しい製品の提供に努めています。アフターサービスの充実や、高速切削を可能とする高効率な製品や、長寿命で省資源化に貢献する製品など、製品の開発を通じて環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

■ 超硬製品のリサイクルの推進

オーエスジーは、グループ全体で超硬製品のリサイクルに取り組んでいます。使用済み工具をお客様から回収、希少金属をリサイクルすることで素材として再生し、資源を有効活用しています。お客様のCSR活動やゼロエミッション推進に役立てるよう取り組んでいます。



■ 再研磨・再コーティングサービス

タップ・エンドミル・ドリル等切削工具は使用を繰り返すと摩耗して切れなくなります。再研磨・再コーティングにより新品同様にその切れ味がよみがえります。オーエスジーではお客様のニーズに合わせた再研磨・再コーティングといったアフターサービスを世界中で展開しています。





社会への取り組み

オーエスジーグループは、持続可能な社会の発展に向け、株主の皆様をはじめお客様・取引先・従業員・コミュニティーなどのステークホルダーの皆様との健全な関係の維持・発展に努めています。社会を構成する一員として、ステークホルダーの皆様との相互理解の促進や貢献活動を通じ、社会とのより良い調和を図っていきます。



オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

ダイバーシティの推進

積極的かつ拡大した「障がい者雇用」への取り組み

オーエスジーでは、積極的に「障がい者雇用」を進めています。さらに地域の社会福祉法人と連携し、施設外就労および委託作業へも展開しています。企業内で働くことが困難な方へ社会参画の場を提供し、地域や社会貢献の幅を広げています。働くことの喜びに一緒にあって寄り添い続けます。

■ 法定雇用率を上回る雇用率の実現

法定雇用率	2.20%
オーエスジー雇用率	2.27%

※2019年度実績

■ 地域貢献

各支援機関、企業からの オーエスジー工場見学実施	2019年度 実績	個別 41回 団体 5回
企業・支援者・利用者向けセミナー講演 「障がい者雇用取り組み事例」	2019年度 実績	外部 12回

働きやすい職場づくり

OSG流働き方改革プロジェクトを推進

オーエスジーでは、働く社員の幸せと労働生産性向上の同時実現を目指し、働き方改革を推進しています。仕事に対するモチベーションや業務効率の向上を図るとともに、誰もが健康で安心して働くことのできる職場環境を整備していきます。

■ フレックスタイム制の導入

これまでの育児・介護短時間勤務制度に加え、全ての社員が柔軟に業務を行うことのできる仕組みとして、一部の職場を除き、フレックスタイム制を導入しています。個人のライフスタイルにあわせ、柔軟な勤務が可能となりました。

■ サテライト勤務の試行

居住地や育児等の理由により、現職場への通勤が困難な社員の新たな働き方として、自宅最寄りの事業所での勤務を可能にするサテライト勤務を試験的にスタートしています。通勤時間の短縮や、子育て支援の一翼となるよう運用を進めています。



コーポレート・ガバナンス

当社は、「地球会社」という企業理念の下、コーポレート・ガバナンスの充実が、重要な経営課題であると認識しています。コーポレート・ガバナンスを充実させる仕組みとして、企業倫理を高めるための具体的な行動指針である「OSG Philosophy」及び「オーエスジー企業倫理綱領」を、当社を含む全グループ会社の取締役、執行役員及び従業員に示し、コンプライアンス意識の向上を図っています。



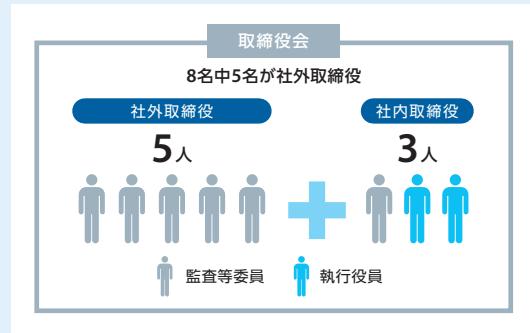
オーエスジーグループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

企業統治体制の概要

当社は、コーポレート・ガバナンス体制として、監査等委員会設置会社を選択し、取締役会、監査等委員会及び会計監査人を設置しています。業務執行は執行役員が行い、取締役会は、経営の意思決定及び業務執行の管理監督を行う体制とし、取締役会の役割を明確にしています。取締役会は、業務執行を行う執行役員を兼務する取締役(監査等委員である取締役を除く)を2名とすることで、意思決定の強化を計りつつ、監査等委員である取締役6名のうち社外取締役を5名とすることにより、取締役8名中5名(過半数)が社外取締役という体制とし、外部からの視点を生かし、取締役会の透明性、独立性及び経営監督機能を高めています。

また、当社は、経営環境の変化への的確な対応と業務執行の

機能・責任の明確化のため、執行役員制度を導入しています。執行役員は、取締役会で決められた方針のもと、業務の執行に専念し、機動的かつ迅速化と効率化を図っています。



企業統治体制の採用理由

当社では、現在のコーポレート・ガバナンス体制とすることで取締役会における経営の意思決定機能及び業務執行を管理監督する機能の充実、経営効率の向上と的確かつ戦略的な経営判断が可能となっています。また、当社は6名の取締役(うち5名は社外取締役)で構成する監査等委員会が、代表取締役及び執行役員の職務執行及び業務や財政状況の監査等を行っています。

当該社外取締役5名全員が上場規則に基づく独立役員であり、これら独立性の高い社外取締役を含む6名の監査等委員である取締役が取締役会の構成員として、経営監督機能を十分に発揮できる環境にあるため、経営の透明性、適正性を確認、確保するコーポレート・ガバナンス体制であると考えています。

役員紹介



代表取締役社長 兼 CEO
石川 則男

取締役 専務執行役員
大沢 伸朗

取締役 (監査等委員)
大沢 吾平

取締役 (監査等委員)
中川 威雄*

取締役 (監査等委員)
小野 喬四朗*

取締役 (監査等委員)
榭 佳之*

取締役 (監査等委員)
高橋 明人*

取締役 (監査等委員)
原 邦彦*

* 社外取締役

補欠の取締役 (監査等委員)
山下 佳代子**

**補欠の社外取締役

常務執行役員
大沢 二郎

常務執行役員
大沢 秀朗

常務執行役員
竹生 光志

上席執行役員
彦坂 光義

上席執行役員
米田 能崇

執行役員
Jeffrey Tennant

執行役員
久留 俊弘

執行役員
鈴木 康司

執行役員
大橋 英之

執行役員
杉原 健也

執行役員
鄭 承鎮

執行役員
近田 幸典

執行役員
石田 修

財務・非財務ハイライト

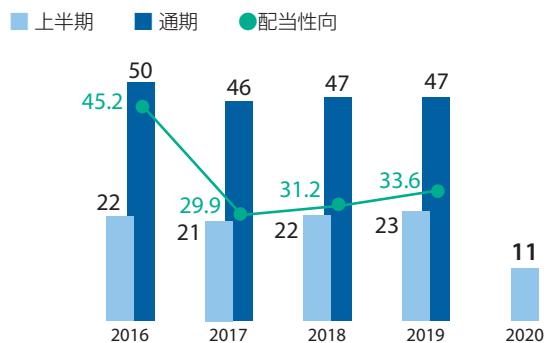
売上高(億円)



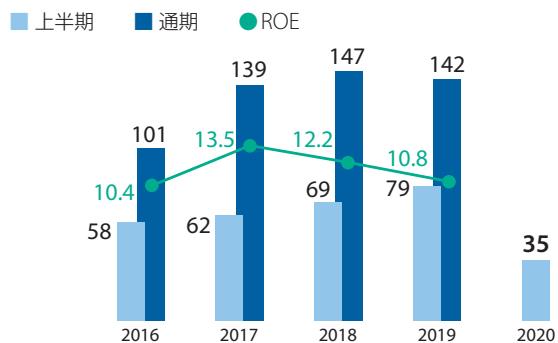
営業利益(億円) / 営業利益率(%)



配当金(円) / 配当性向(%)



当期純利益(億円) / ROE(%)



エネルギー使用量(GJ)

エネルギー使用量の生産高原単位(GJ/百万円)



CO₂排出量(t)

CO₂排出量の生産高原単位(t/百万円)



会社概要／株式の状況 (2020年5月31日現在)

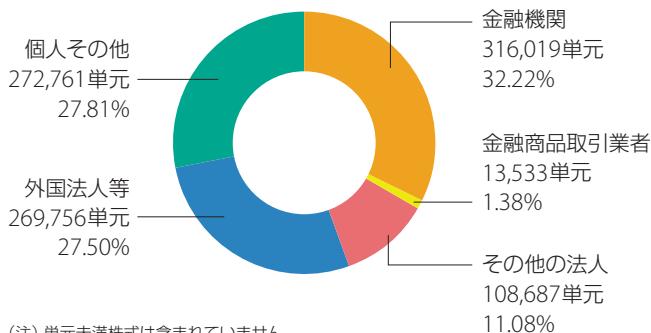
会社概要

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation
本社 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立 1938年3月26日
資本金 122億23百万円
従業員 連結7,328名 単独1,883名
事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式総数 98,179,742株
株主総数 7,966名

所有者別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



(注) 単元未満株式は含まれていません。

大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,650	7.79
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,460	5.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,461	4.54
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,836	3.91
オーエスジーエージェント会	3,127	3.19
オーエスジー持株会	2,570	2.62
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,350	2.39
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,997	2.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,864	1.90

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月開催
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所
証券コード 6136



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>

